

大阪府入札監視等委員会 入札監視第2部会 平成27年度第2回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成27年10月30日(金)午後1時30分から午後4時15分
- 2 場 所 大阪赤十字会館 4階 401会議室
- 3 出席委員 5名
- 4 審議対象期間 平成27年4月1日から平成27年7月31日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。
 また、大阪府が契約締結した建設工事(予定価格250万円を超えるもの)、測量・建設コンサルタント等業務(予定価格100万円を超えるもの)、委託役務業務(予定価格100万円(物件の借入れについては、80万円)を超えるもの)、物品購入(予定価格160万円を超えるもの)総契約件数1,215件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

(抽出事案一覧)

入札方式		案 件 名	契約金額(円)
建設工事	一般競争	大阪府営吹田高野台第2期高層住宅(建て替え)新築工事(第1工区)	1,671,840,000
	一般競争	大阪府立大塚高等学校校舎棟他2棟大規模改修工事	159,516,000
	一般競争	大阪府立福井高等学校外1校体育館非構造部材耐震化対策工事	99,144,000
	一般競争	大阪府中央卸売市場冷蔵庫棟荷物用昇降機設備改修工事	54,540,000
	一般競争	大阪府立茨木高等学校特別教室棟他1棟大規模改修その他工事	43,999,200
	一般競争	旅行時間計測装置整備工事(第1回)	22,464,000
	一般競争	大阪府営槇塚台第1住宅耐震改修工事監理業務(その2)	15,012,000
測量・ 建コン	一般競争	大阪府営枚方三栗住宅(建て替え)分筆その他測量業務	7,601,040
	随意契約	大阪府立大手前高等学校外1校体育館非構造部材耐震化対策工事監理業務(その2)	2,851,200
委託役務	一般競争	大阪府立図書館管理運営業務	1,271,700,000
	一般競争	税務情報基盤設計及び運用管理業務	250,560,000
	随意契約	自動車税納税通知書兼納付書等の印刷及び封入封かん等業務(単価契約)	145,033,578
物品	一般競争	ドラフトチャンバーの購入	5,400,000

6 審議の結果： 抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

7 委員からの質問とそれに対する回答： 別紙のとおり

(別紙)

質 問	回 答
<p>【大阪府営吹田高野台第2期高層住宅（建て替え）新築工事（第1工区）】</p> <p>総合評価における技術評価はどのように審査するのか。</p> <p>入札参加者がJVの場合、どのように審査するのか。</p> <p>本件と同時に公告した案件2件は、落札率が85%を下回っているが、本件は、97%と高いのは、なぜか。</p> <p>擁壁工事を切り離して発注はできなかったのか。</p> <p>入札参加者が3者と少なかったのは、なぜか。</p>	<p>あらかじめ定めた技術評価項目に応じて、各入札参加者が作成・提出した技術審査資料及び根拠資料により発注者において技術審査を行い、配点基準に基づき技術評価点を採点している。この審査及び採点は、開札前に行っている。</p> <p>JVの技術評価については、代表構成員の評価点を採用している。</p> <p>本件は、高さ10mの擁壁工事を含んでおり、応札業者がこの事業内容を検討した結果、落札率が高くなったと思われる。</p> <p>本来、擁壁工事を含む場合、通常、開発許可をとって、擁壁工事を先行して行い、擁壁について開発許可に基づく完了検査を受け、その後に建物の建築工事を行う。</p> <p>本件のように、擁壁の基礎と建物の基礎がかなり接近している場合は、擁壁工事と建築工事を併せて行う必要があり、両者を分離発注することは困難である。なお、開発許可の手続きについては、開発許可を取得する前に建築工事が可能となる建築承認を得ることとしている。</p> <p>本件は、特殊性のある規模の大きい擁壁工事を含んでいることから、敬遠されたのではないかと考えている。</p> <p>PC工法の採用工事など特殊性のある工事については、これまでも入札参加者が少なくなる傾向である。</p>
<p>【大阪府立大塚高等学校校舎棟他2棟大規模改修工事】</p> <p>本件は失格者が多く、ランダム係数の影響ではないかと思うが、どうか。</p>	<p>本件については、応札者76者中、失格者68者で、その内ランダム係数の範囲内の失格者は1者であることから、入札全体へのランダム係数の影響はなかったと考えている。</p>
<p>【大阪府立福井高等学校外1校体育館非構造部材耐震化対策工事】</p> <p>なぜ、辞退者が多く出たのか。</p>	<p>非構造部材の耐震化対策工事は今年度から始めたものなので、事例がまだ少なく、予定価格等が読みにくく、敬遠されたのではないかと考えている。</p>

質 問	回 答
<p>事例が増えれば、辞退者が少なくなり、競争性が高まるということか。</p> <p>本件については、同時公告案件への3件以上重複参加を認めていないが、第1順位の落札候補者が3件以上重複参加したため、失格となっているが、このようなことはよくあるのか。</p>	<p>今年度、施工事例がかなり増えるので、平米単価がいくらといった積算がしやすくなり、また、施工が容易であったということであれば、入札参加者も増え、競争性が高まると考えている。</p> <p>営業部門と積算部門との連携がうまくいかず、単純に間違っただのではないかと思う。</p> <p>このようなことはよく発生しており、工事よりも設計等で起こることが多いものである。</p>
<p>【大阪府中央卸売市場冷蔵庫棟荷物用昇降機設備改修工事】</p> <p>1者入札となっているが、その原因をどのように考えているか。</p> <p>予定価格算定に当たって、何者から見積を徴したか。</p> <p>改修工事については、当該施設の設置工事を施工した者が受注するケースが多いのか。</p>	<p>本工事は、老朽化した昇降機設備の改修工事であるが、このような工事は、施工に際して施設管理者との詳細な調整が必要となり、また、施工可能な時間帯が休日や夜間等に限定されるなど、施工性が悪い。このようなことから、受注してもあまりメリットがないと他の入札参加資格者から敬遠され、結果的に一者入札になったと考えている。</p> <p>5者に見積もりを依頼し、2者から見積書の提出があった。</p> <p>実情としてはそのような傾向にあるように思われるが、当初設置工事を行ったという実績が改修工事の受注に際して優位に働いたとは考えていない。</p>
<p>【大阪府立茨木高等学校特別教室棟他1棟大規模改修その他工事】</p> <p>失格者数が多いが、何故か。</p> <p>辞退者も多いが、何故か。</p>	<p>本件工事は、大規模改修と非構造部材耐震改修の二つのものを含んでおり、後者の工事は今年度から採用したものであり、業者に積算のノウハウがあまり蓄積されていなかった上、最低制限価格狙いの入札に下ぶれが起きて、失格者が増えたと分析している。</p> <p>同時に公告している案件が、本件の外に5件あるが、その辞退者はそれぞれ58、36、63、52、49者となっており、本件の辞退者23者は一番少なく、辞退者は多くないと考えている。本件工事は、非構造部材耐震改修に係る工事部分が少ないことから、辞退者が少なかったと考えている。</p>

質 問	回 答
<p>【旅行時間計測装置整備工事（第1回）】</p> <p>入札参加者以外に、本件装置を製作する者はいるのか。</p> <p>競争性があまりないとみられるので、随意契約で契約するほうが安く調達できるのではないか。</p>	<p>本件装置を製作できる者は複数者あり、過去の入札に6者参加していた。しかし、新設工事はなく、更新工事のみで、全国的にも需要が少ないため、採算面で入札参加者が少なくなっていると考えている。</p> <p>警察庁の示す仕様により発注しており、複数者の製作が可能ということで一般競争入札をしている。平成24年度からは一者入札になっているので、来年度以降の対応については検討していく。</p>
<p>【大阪府営榎塚台第1住宅耐震改修工事監理業務（その2）】</p> <p>本件は再公告の案件だが、当初の公告案件はどのようにして不調となったのか。</p> <p>本件と同時に公告した案件は落札率が80%であるが、一方、本件は落札率が98%と高い落札率となっているが、どのように考えているか。</p>	<p>当初の公告案件の入札状況は、9者の入札参加申込があり、6者が辞退し、3者が最低制限価格未滿の入札により失格となり、不調となった。なお、最低制限価格を下回ったことにより入札を取りやめたことは公表している。</p> <p>本件は、入札参加者が2者で、1者が最低制限価格を僅かに下回り失格となり、1者が予定価格付近で入札したため、結果的に落札率が98%と高くなっている。同時公告案件は、入札参加者が5者で、2者が失格となり、落札率が80%となっている。</p> <p>本件は、大阪市内中心部から離れている上、耐震改修工事の監理業務ということで、住民との調整業務が多く、一方、同時公告案件は大阪市内の中心部のもので利便性が高く、住民との調整業務がないため、本件は、同時公告案件と比較して、魅力がなかったと思われ、入札参加者が少なくなり、結果的に落札率が高くなったと考えられる。</p>
<p>【大阪府営枚方三栗住宅（建て替え）分筆その他測量業務】</p> <p>-----</p>	<p>-----</p>
<p>【大阪府立大手前高等学校外1校体育館非構造部材耐震化対策工事監理業務（その2）】</p> <p>本件は、当初の一般競争入札が不調となったために随意契約するものであるが、当初入札が何故不調となったのか。</p>	<p>当初入札案件の発注に当たって、本件のほかに6件を同時公告し、合せて7件の落札決定において、落札決定順位の若い順番で、落札を1業者1件とする取り分け方式を条件とした。本件については、有効な入札を行った者が3者あったが、3者と</p>

質 問	回 答
<p>同時公告案件を減らす等の工夫はできなかったのか。</p>	<p>も先行の案件で落札者となったため、不調となったものである。</p> <p>工事監理の対象となる工事が既存の高等学校の施設改修であるため、どうしても夏休み中に施工する必要があることから、ある程度、発注時期が集中してしまう状況は、やむを得ないものと考えている。</p>
<p>【大阪府立図書館管理運営業務】</p> <p>本件については、総合評価一般競争入札によっているが、今後もこの入札方式を採用していくのか。</p> <p>本件は一者入札となっているが、落札者以外に応募可能業者があるのか。</p>	<p>図書館業務については、平成 21 年度に大阪版市場化テスト対象業務となり、当初契約については、企画提案を求めため公募型プロポーザル方式により業者選定を行った。契約期間は、当初、平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 か年契約であったが、業務執行体制の検討・調整のため、平成 25 年度及び平成 26 年度と 2 年間にわたり随意契約による延長を行っている。今回の発注に当たっては、図書館業務の使用等がほぼ固まっており、新たな企画提案が望めないため、一般競争入札によることとしたが、業務の性質上、サービス提供の継続性など実績等を評価する必要があることから、総合評価落札方式を併せて採用することとした。今回の契約期間が満了する 5 年後の次期発注についても総合評価一般競争入札を採用することを考えている。</p> <p>図書館の物品の取扱、カウンター業務や本の整理など包括的な業務を行うことができる事業者は現時点においては本件落札者以外にあまりいない。しかしながら、近年、公立図書館の図書館運営業務を委託発注する案件が多くなってきており、今後、能力や実績を有する事業者が育ってくると期待しており、将来的には競争性を確保できると考えている。</p>
<p>【税務情報基盤設計及び運用管理業務】</p> <p>現行システムを運用管理している事業者が使用していたプログラムを次期事業者が使用できるようになっているのか。</p> <p>一者入札となっているが、理由はどうか考えているのか。</p> <p>仕様を見たところ、データを</p>	<p>従来使用していたプログラムについては、大阪府に帰属するものなので、次期事業者が使用することはできるものである。</p> <p>府の税のシステムは昭和 44 年から従来の事業者が運営していた。今回ホストコンピューターを取りやめて、オープンシステムに変更し、他の事業者が入札に参加できるよう一般競争入札を行ったが、これまでの経緯を知っていることから他の事業者は敬遠したのではないかと推測している。</p>

質 問	回 答
<p>「Access」を使って処理するという事となっている。この「Access」は誰でも容易にプログラムを作成できる反面、一度、プログラムを作ってしまうと、プログラム作成者以外ではプログラムの内容・構造がわからなくなってしまうという状況になっている。そのため、最初受注したベンダー以外にプログラムが触れなくなり、ベンダーロックインされる可能性があることから、仕様を決定する際には、その点を留意した備えを設けておく必要があると考える。</p>	
<p>【自動車税納税通知書兼納付書等の印刷及び封入封かん等業務(単価契約)】</p> <p>入札の結果、不落ということだ、随意契約となったとのことだが、入札業者が予定価格を超える金額で入札した理由は何だったのか。</p>	<p>今回の予定価格の算定は、前回分の算定に、数量変更による積み上げと、システム変更による新たな文字コードの採用や、外字パターンの採用に伴う費用を積み上げたものである。</p> <p>これに対し、入札業者は、新たなシステム導入に伴い、プログラムを開発しなければならないと考え、入札額を算定したため、金額に差が生じたものと考えている。</p>
<p>【ドラフトチャンバーの購入】</p> <p>予定価格はどのように算定したのか。</p> <p>3者の見積り額は、メーカーの定価から見て、どうだったのか。</p>	<p>3者から見積を徴して、最低価格を採用した。</p> <p>落札業者の見積額が、定価に対し、74.4%。それ以外の2者については、80%、90%程度であった。</p>